

1 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」(昭和40年法律第109号)により、でん粉に関して適切な価格調整を図るため、半期ごとにでん粉の需給見通しを公表している。令和8年2月に公表したでん粉の需給見通しの概要は、次の通り。

でん粉の需給見通し

【令和6でん粉年度(見込み)】

需要量：238万4000トン(前年度比0.9%減)

供給量：240万トン(同0.5%減)

【令和7でん粉年度(見通し)】

需要量：239万9000トン(前年度比0.6%増)

供給量：240万3000トン(同0.1%増)

表1 でん粉の需給見通し

(単位：千トン)

		令和5でん粉年度 (実績)	令和6でん粉年度 (見込み)		令和7でん粉年度 (見通し)			
		計	10-3月	4-9月	計	10-3月	4-9月	計
需要	糖化製品	1,649	765	890	1,654	767	887	1,655
	化工でん粉	236	117	122	239	111	129	240
	その他(製紙用、ビール用、片栗粉など)	520	231	260	491	244	260	505
	合計	2,405			2,384			2,399
供給	前年度繰り越し	8			7			16
	国産いもでん粉(生産量)	162	169	—	169	142	—	142
	かんしょでん粉	11	10	—	10	9	—	9
	ばれいしょでん粉	151	159	—	159	133	—	133
	調整金 徴収 対象							
	コーンスターチ	2,083	957	1,106	2,063	959	1,103	2,061
	輸入でん粉 (糖化製品、化工でん粉用)	133	69	64	133	76	78	154
	輸入でん粉(その他用)	10	7	6	13	8	8	16
	小麦でん粉	14	7	7	14	7	7	14
合計	2,411			2,400			2,403	
	次年度繰り越し	7			16			4

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表2 国内産いもでん粉の需給見通し

(単位：千トン)

			令和7年10月～令和8年3月 (見込み)			令和8年4月～9月 (見通し)			令和7でん粉年度計		
			かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	上期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	下期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	計
需要	交付金 対象 用途	糖化製品	2	13	15	2	4	5	4	17	20
		化工でん粉	1	11	11	0	13	14	1	24	25
		その他	3	19	22	2	25	27	5	44	49
		小計	5	43	48	4	42	46	9	85	94
	その他の用途		0	25	25	0	35	35	0	60	60
	計		5	68	73	4	77	81	9	145	154
供給	前期からの繰り越し		4	12	16	7	77	85	4	12	16
	生産量		9	133	142	0	0	0	9	133	142
	計		12	145	158	7	77	85	12	145	158
次期への繰り越し			7	77	85	3	0	4	3	0	4

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注3：交付金対象用途の「その他」について

ばれいしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙(層間接着用)、水産養殖用餌料などである。

かんしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。

注4：交付金対象用途外の「その他の用途」は、片栗粉などである。

(1) でん粉の需要量の見通し

用途ごとのでん粉の需要量の見通しは以下の通り。

【糖化用向けでん粉の需要量】

令和6でん粉年度は、前年度並み

令和6でん粉年度は、外出機会の増加やインバウンド需要の増加に伴い土産需要などの増加などにより、前年度を5000トン上回る165万4000トン（前年度比0.3%増）となった。7でん粉年度は、前年度同様、インバウンド需要に伴う土産需要の増加などが見込まれることから、前年度を1000トン上回る165万5000トン（同0.1%増）と見通している。

【化工でん粉用向けでん粉の需要量】

令和6でん粉年度は、前年度からわずかに増加

令和6でん粉年度は、好調な外食需要を背景とした業務用加工食品などの需要増により、前年度を3000トン上回る23万9000トン（同1.3%増）となった。7でん粉年度は、前年度に引き続き、業務

用加工食品向け需要の増加が見通されることから、前年度を1000トン上回る24万トン（同0.4%増）と見通している。

【その他用途向けでん粉の需要量】

令和6でん粉年度は、前年度からやや減少

令和6でん粉年度は、製紙向け需要の減少により、前年度を2万9000トン下回る49万1000トン（同5.6%減）となった。7でん粉年度は、業務用加工食品向けなどの需要増加が見込まれることから、前年度を1万4000トン上回る50万5000トン（同2.9%増）と見通している。

(2) でん粉の供給量の見通し

各種でん粉の供給量の見通しは以下の通り。

【かんしょでん粉の供給量】

令和6でん粉年度は、前年度からかなりの程度減少

令和6年産でん粉原料かんしょの生産量は、産地

でのサツマイモ^{もとぐされ}基腐病の発生面積が減少したものの、他用途向けとの原料の競合の影響により、かんしょでん粉の生産量は、前年度を1000トン下回る1万トン（前年度比9.1%減）となった。7年産については、前年度同様、他用途向けとの原料の競合の影響により、前年度を1000トン下回る9000トン（同10.0%減）と見通している。

【ばれいしょでん粉の供給量】

令和6でん粉年度は、前年度からやや増加

令和6年産でん粉原料ばれいしょの生産量は、8月中旬以降の気温が下がったため、でん粉含有率が回復したことから、ばれいしょでん粉の生産量は、前年を8000トン上回る15万9000トン（同5.3%増）となった。7年産については、少雨や酷暑の影響を受けた産地の原料いもの生育状況も踏まえ、ばれいしょでん粉の生産量は前年度を2万6000トン下回る13万3000トン（同16.4%減）と見通している。

【コーンスターチの供給量】

令和6でん粉年度は、前年度からわずかに減少

令和6でん粉年度は、発泡酒の需要の減少や製紙向け需要の減少により、前年度を2万トン下回る206万3000トン（同1.0%減）となった。7でん粉年度は、前年度同様、製紙向け需要の減少などが見込まれることから、前年度を2000トン下回る206万1000トン（同0.1%減）と見通している。

【輸入でん粉の供給量】（糖化製品、化工でん粉用）

令和6でん粉年度は、前年度並み

令和6でん粉年度は、国産いもでん粉の生産量が回復したものの、前年度同の13万3000トンとなった。7でん粉年度は、前年度同様、国産いもでん粉の

供給量が減少見込みであることなどにより、前年度を2万1000トン上回る15万4000トン（同15.8%増）と見通している。

【輸入でん粉の供給量】（その他用）

令和6でん粉年度は、前年度から大幅に増加

令和6でん粉年度は、業務用加工食品向けなどの需要の増加により、前年度を3000トン上回る1万3000トン（同30.0%増）となった。7でん粉年度は、引き続き需要が増加すると見込まれることから、前年度を3000トン上回る1万6000トン（同23.1%増）と見通している。

【小麦でん粉の供給量】

令和6でん粉年度は、前年度並み

令和6でん粉年度は、近年の需要に応じた製造がされるものとして、前年度同の1万4000トンとなった。7でん粉年度についても、同程度の供給がなされるものとして、前年度同の1万4000トンと見通している。

2 輸入動向

【タピオカでん粉の輸入動向】

1月の輸入量は前年同月からわずかに減少

財務省「貿易統計」によると、2026年1月のタピオカでん粉の輸入量は、1万239トン（前年同月比1.8%減、前月比5.0%増）と、前年同月と比較すると、わずかに減少した（図1）。

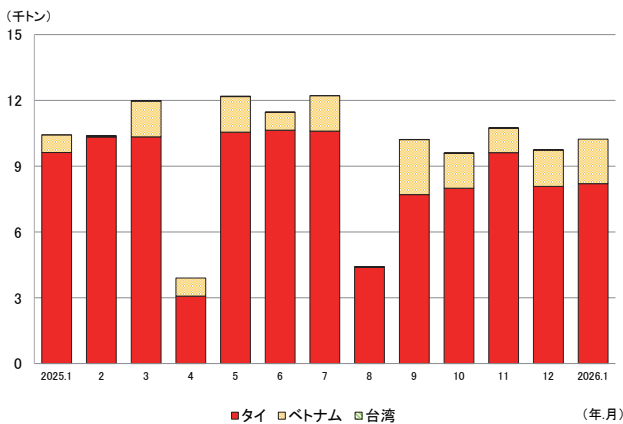
輸入先はタイ、ベトナム、ブラジル、中国、インドネシアの5カ国で、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

タイ	8200トン （前年同月比14.8%減、前月比1.5%増）
ベトナム	2030トン

(同2.5倍、同22.5%増)

ブラジル	3トン
(前年同月輸入実績なし、同2.8倍)	
中国	3トン
(前年同月輸入実績なし、前月輸入実績なし)	
インドネシア	2トン
(前年同月輸入実績なし、前月輸入実績なし)	

図1 タピオカでん粉の国・地域別輸入量の推移



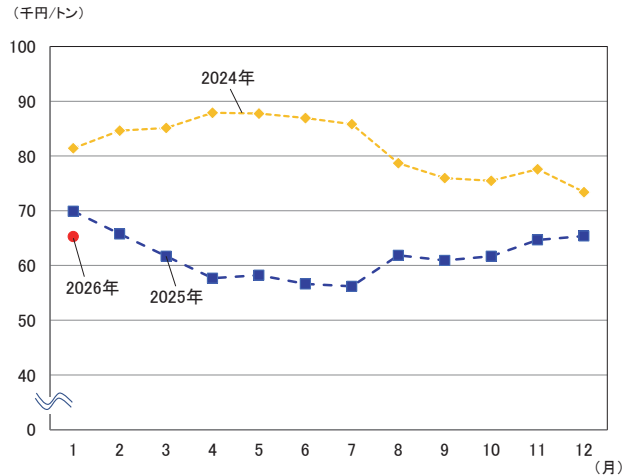
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

2026年1月の1トン当たりの輸入価格は、6万5283円（前年同月比6.7%安、前月比0.4%高）と、前年同月をかなりの程度下回った（図2）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ	6万5386円
(前年同月比6.6%安、前月比0.6%高)	
ベトナム	6万3588円
(同6.5%安、同1.2%安)	
ブラジル	67万7553円
(前年同月輸入実績なし、同60.1%高)	
中国	19万4257円
(前年同月輸入実績なし、前月輸入実績なし)	
インドネシア	14万1000円
(前年同月輸入実績なし、前月輸入実績なし)	

図2 タピオカでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

【サゴでん粉の輸入動向】

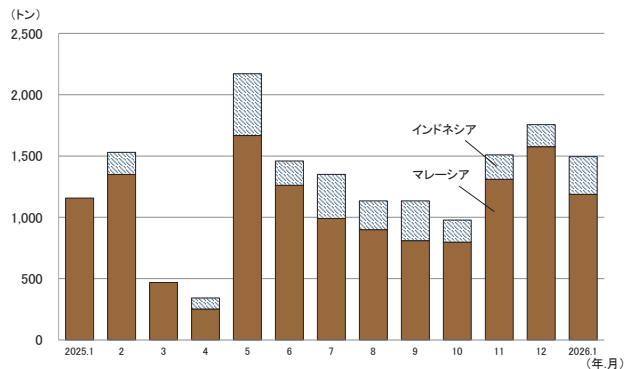
1月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2026年1月の輸入量は、1494トン（前年同月比29.1%増、前月比14.9%減）と、前年同月から大幅に増加した（図3）。

輸入先はマレーシアおよびインドネシアで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

マレーシア	1188トン
(前年同月比2.7%増、前月比24.6%減)	
インドネシア	306トン
(前年同月輸入実績なし、同70.0%増)	

図3 サゴでん粉の国・地域別輸入量の推移



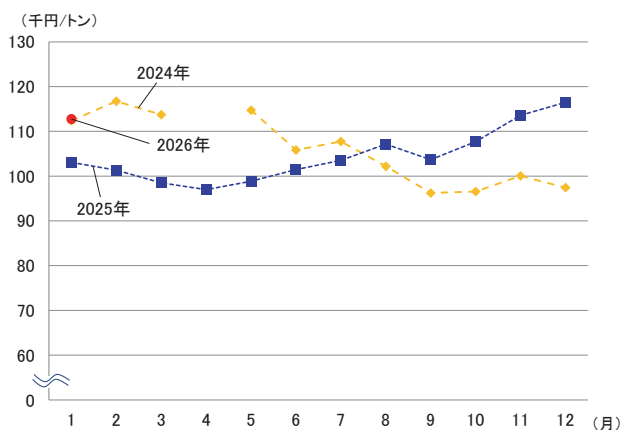
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

2026年1月の1トン当たりの輸入価格は、11万2744円（前年同月比9.4%高、前月比3.6%安）となり、前年の価格をかなりの程度上回った。（図4）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

マレーシア	11万6133円
	（前年同月比12.8%高、前月比1.6%安）
インドネシア	9万9588円
	（前年同月輸入実績なし、同0.4%安）

図4 サゴでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注1：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

注2：2024年4月は輸入実績なし。

【ばれいしょでん粉の輸入動向】

1月の輸入量は前年同月から大幅に増加

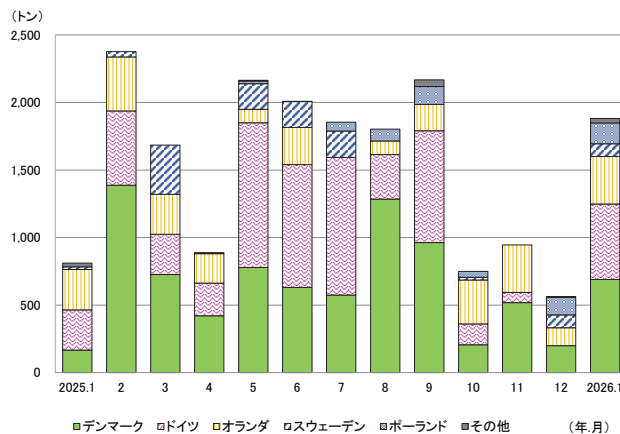
財務省「貿易統計」によると、2026年1月のばれいしょでん粉の輸入量は1881トン（前年同月比2.3倍、前月比3.4倍）と、前年同月から大幅に増加した（図5）。

輸入先はデンマーク、ドイツ、オランダ、ポーランド、スウェーデン、ラトビア、オーストリアおよび台湾で、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

デンマーク	690トン
	（前年同月比4.2倍、前月比3.5倍）
ドイツ	559トン
	（同86.8%増、前月輸入実績なし）

オランダ	351トン
	（同17.8%増、前月比2.7倍）
ポーランド	154トン
	（前年同月輸入実績なし、同16.7%増）
スウェーデン	95トン
	（同4.8倍、前月同）
ラトビア	22トン
	（前年同月輸入実績なし、前月輸入実績なし）
オーストリア	8トン
	（前年同月輸入実績なし、前月輸入実績なし）
台湾	2トン
	（前年同月輸入実績なし、前月同）

図5 ばれいしょでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

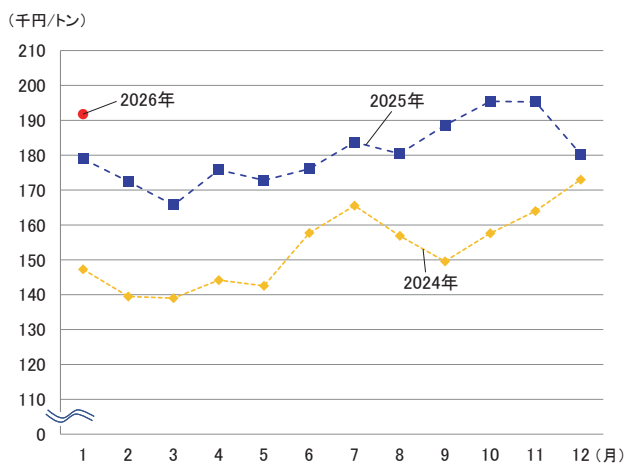
2026年1月の1トン当たりの輸入価格は、19万1748円（前年同月比7.2%高、前月比6.4%高）と、前年同月をかなりの程度上回った（図6）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

デンマーク	18万6150円
	（前年同月比12.1%高、前月比0.6%高）
ドイツ	18万8891円
	（同2.7%高、前月輸入実績なし）

オランダ	22万191円
	(同18.4%高、前月比3.4%高)
ポーランド	15万6532円
	(前年同月輸入実績なし、同0.3%高)
スウェーデン	15万2158円
	(同9.4%安、同0.8%高)
ラトビア	33万45円
	(前年同月輸入実績なし、前月輸入実績なし)
オーストリア	30万3394円
	(前年同月輸入実績なし、前月輸入実績なし)
台湾	46万833円
	(前年同月輸入実績なし、前月比2.9%高)

図6 ばれいしょでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

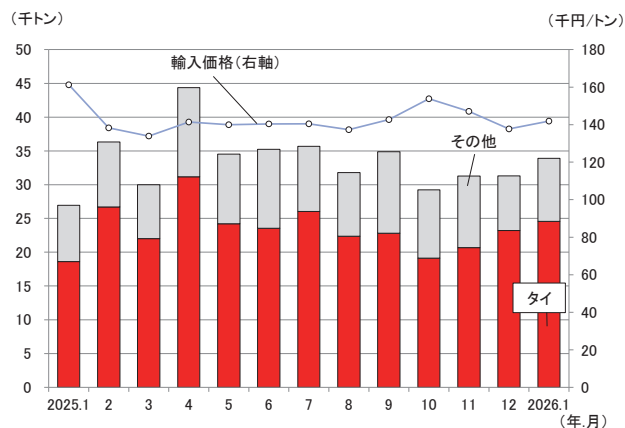
【でん粉誘導体の輸入動向】

1月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2026年1月のでん粉誘導体の輸入量は、3万3899トン（前年同月比25.8%増、前月比8.3%増）と、前年同月から大幅に増加した（図7）。

2026年1月の1トン当たりの輸入価格は、14万1905円（前年同月比11.9%安、前月比2.8%高）と、前年同月をかなり大きく下回った。

図7 でん粉誘導体の輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-100

でん粉誘導体の輸入先は15カ国・地域で、最大の輸入先はタイであった。主要輸入先からの輸入量は次の通りで、タイが輸入量の7割強を占めており、次いでベトナム、デンマーク、中国となっている（表3）。

表3 でん粉誘導体の主要輸入先および輸入量（1月）

輸入先国	輸入量（トン）	シェア
合計	33,899	100.0%
うち タイ	24,568	72.5%
ベトナム	3,188	9.4%
デンマーク	1,380	4.1%
中国	1,024	3.0%
豪州	961	2.8%
フランス	636	1.9%

資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-100

【デキストリンの輸入動向】

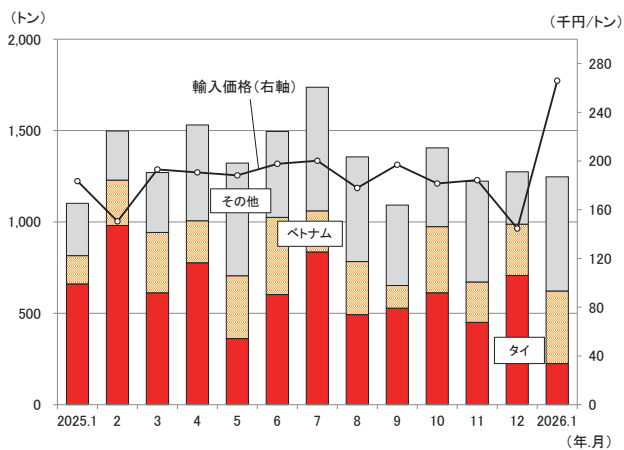
1月の輸入量は前年同月からかなり大きく増加

財務省「貿易統計」によると、2026年1月のデキストリンの輸入量は1247トン（前年同月比13.1%増、前月比2.2%減）と、前年同月からかなり大きく増加した（図8）。

デキストリンの輸入先は9カ国・地域となってお

り、2026年1月の1トン当たりの輸入価格は、26万5956円（前年同月比44.5%高、前月比83.4%高）と、前年同月を大幅に上回る高値となった。

図8 デキストリンの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-200

上位輸入先からの輸入量は次の通りで、ベトナム、中国およびタイからの輸入は、7割弱を占めている（表4）。

表4 デキストリンの主要輸入先および輸入量（1月）

輸入先国	輸入量（トン）	シェア
合計	1,247	100.0%
うち ベトナム	397	31.8%
中国	236	18.9%
タイ	225	18.0%
米国	137	11.0%
デンマーク	132	10.6%
フランス	49	3.9%

資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-200

【コーンスターチ用トウモロコシの輸入動向】

1月の輸入量は前年同月からやや減少

財務省「貿易統計」によると、2026年1月のコーンスターチ用トウモロコシの輸入量は、19万8933トン（前年同月比5.5%減、前月比10.8%減）とな

り、前年同月をやや下回った（図9）。

輸入先は米国およびブラジルで、輸入量は次の通りであった。

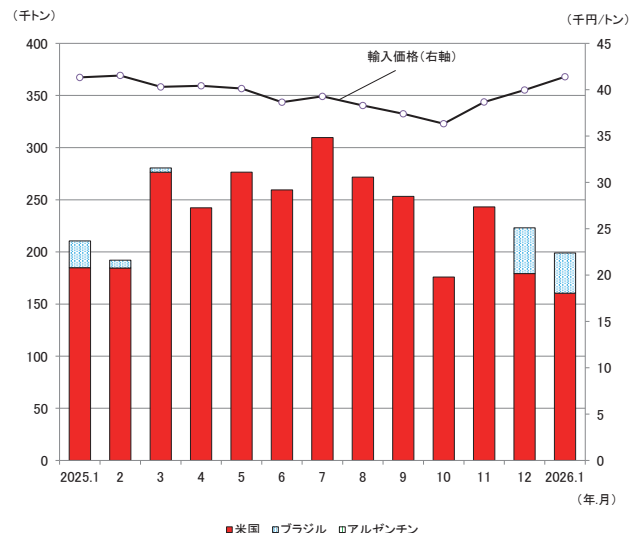
米国 16万545トン
（前年同月比13.1%減、前月比10.4%減）
ブラジル 3万8388トン
（同49.5%増、同12.6%減）

2026年1月の1トン当たりの輸入価格は、4万1388円（前年同月比0.2%高、前月比3.6%高）と、前年同月並みとなった。

米国およびブラジルの1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

米国 4万1413円
（前年同月比0.4%安、前月比4.5%高）
ブラジル 4万1284円
（同4.3%高、同0.3%安）

図9 コーンスターチ用トウモロコシの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1005.90-091